

～建築科で学ぶみなさんへ～

教育訓練目標

建築は、生活の基盤となる建物を作っていく夢と現実の橋渡しをする仕事です。本科では2級建築士受験科目の内容を基本として網羅しながら、手刻みによる在来軸組構法2階建て住宅建築の施工をはじめとした現場主義訓練を貫くことで、プロとして活躍するためのベースとなる技能と知識と経験を持った実践技術者を養成します。



教育の3本柱

カリキュラムは、次のように3つの分野を柱として教育科目が構成されます。

1. 建築施工技術

在来軸組工法による2階建て木造住宅の施工を中心に、建築材料や手工具・電動工具・木工機械の使い方を実習を通して学びます。様々な建築物の施工技術と地震に強い住宅や日本古来の伝統施工技術を実際に繰り返しながら「もの」をつくることにより習得していきます。



2. 建築設計・CAD技術

丈夫で快適な建築空間を目指し、木造や鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの設計・製図や企画設計・構造設計等に対応できる知識を様々な実習と結び付けながら習得していきます。また、CADシステムや最新建築工法等を取り入れ、建築設計ができる技術も習得していきます。



3. 建築施工管理技術

建築物の企画・設計から竣工までの生産プロセスで求められる、計画・設計・施工・維持及び安全管理に関する知識や様々な建築関連法令等を融合しながら学び、現場管理で必要とされる工程管理、コスト管理、安全管理、品質管理等ができる建築施工管理技術を習得していきます。



授業科目の展開

建築科では、学科と実技（実習）の時間数の割合がおよそ3：7であることから分かるように、実技に重みをおいた教育訓練を行っています。